

香川大学教育学部からの出前講座⑥（１年） を実施しました

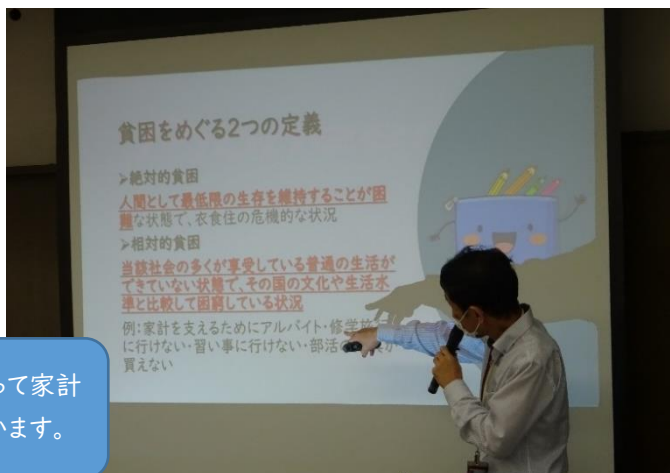
１０月２１日、香川大学教育学部から小方直幸先生をお招きし、「１６歳からの社会学」という演題で、教育創造コースの１年生にご講義いただきました。

「日本は格差大国～その際の学校の役割とは？」という問題を考えました。

問１「相対的貧困って聞いたことがありますか？ どんな状況を指すのでしょうか？」



１ヶ月 １８万円で、どうやって家計をやり繰りするか 考えています。



**問２ 子どもの生活習慣や学力に対して家庭の影響はどのくらいあると思いますか？
また、学校がなければ、子どもの生活習慣や学力にどんなことが生じるとと思いますか？**



学校 そして あなたに
できることは？



学校 そして あなたにできることは 課題が見つければ、次に取り組を探することができます。学校や地域では、放課後の学習支援、休日等を利用した体験活動、食事の提供など、様々な支援を行っています。高校時代に、一度はそうした現場に足を運んでみて下さい。

コース生へ ●このコースでは教育問題を考える機会が多く用意されています。●教育問題を考えることは社会を考えることです。そして教育は社会の要です。●必要なのは教育への関心・想いです。●教育に関わる主体は、学校以外に自治体（行政）、地域（NPO）、家庭など多様です。●大学進学は手段にすぎません。何らかの形で教育問題を考え続け、教育に関わり続ける人になってくれると嬉しいです。

小方先生、重要なメッセージを受け取りました。本日は、ご講義ありがとうございました。